

◆エコアクション 21 とは？

「エコアクション 21」は、環境省が策定した環境経営の認証・登録制度です。

エコアクション 21 は、事業活動に省エネルギーや省資源などの環境配慮の視点を組み込むとともに、SDGs などの取組を支援・促進し、経営力アップにつなげる「企業価値向上ツール」としての役割も担っています。

2004 年度に認証・登録制度として発足し、2021 年 5 月末現在、全国で約 7,500 社、埼玉県内で約 170 社が登録しています。

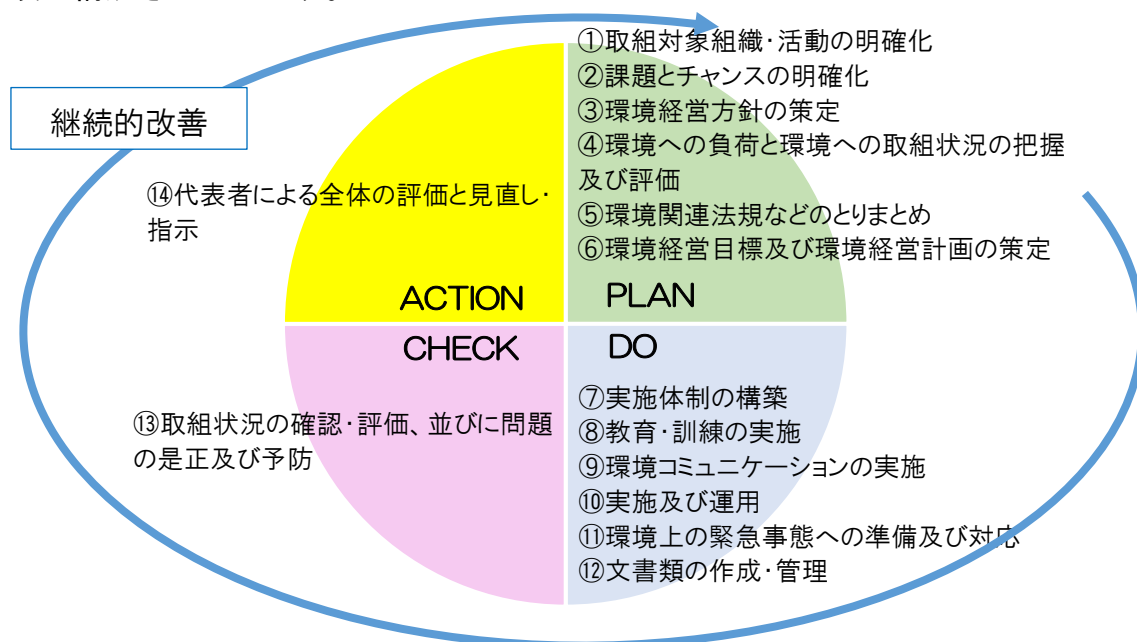


◆エコアクション 21 認証・登録状況

直近の全国の登録状況（外部サイト：http://ea21.jp/list/ninsho_search.php）

◆エコアクション 21 構築の概要

「経営上の課題とチャンス」を反映した PDCA サイクルを基本とし、全部で 14 の要求事項で構成されています。



◆エコアクション21で促進・支援する取組の例

<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷削減に向けた取組（省エネ・省資源・3R活動） ・ 業務改善（働き方改革、労働環境改善） ・ 生産効率性の向上、歩留まりの改善 ・ 従業員教育 ・ CSR活動（「企業の社会的責任」。企業が社会に与える影響について責任を持ち、社会の持続的発展に貢献していこうとする取組。）の実践 ・ CSV活動（「共通価値の創造」。企業活動を通じた社会の課題解決をめざし、社会価値と企業価値の向上の両立を図ろうとする取組。）の実践 ・ グリーン調達推進 ・ SDGsへの対応
--

◆エコアクション21の特徴

「企業価値向上ツール」としての位置づけ	エコアクション21は、環境への取組を軸に、業務改善や人材育成、SDGsなどへの取組を支援・促進し、「経営の効率化・合理化」や「社会的信頼の向上」、「組織の活性化」につなげることをめざした「企業価値向上ツール」です。
ローコスト	エコアクション21は、認証取得などに要する費用が安価。ISO14001に比べ格段に安く、かつ、認証取得までの期間も短くなっています。また、取引先からのグリーン調達要請、環境への取組要請にも十分対応できます。
取り組みやすさ	エコアクション21は、実務負担に配慮した取り組みやすいシンプルな仕組みになっています。また、二酸化炭素や廃棄物の削減などに向けた取組方法を分かりやすくガイドラインに記載しており、初めて取り組む場合でも、無理なく効果的な活動に取り組むことができます。
取組を支援する仕組み	エコアクション21に取り組む企業が、認証の要件に適合しているかを審査する「審査員」。 審査員は、一方的に審査をするのではなく、認証取得事業者に対し、最新の環境経営に関する情報提供をするほか、取組に対するアドバイスをし、先駆的に環境改善、経営改善、社会貢献への取組ができるよう支援します。 また、エコアクション21では、認証取得事業者間の交流の機会（フォローアップセミナーの開催など）が設けられています。他事業者との情報交換により、取組のステップアップや新たなビジネスパートナーの獲得など、ビジネスチャンスの拡大に繋げることもできます。

取組の情報発信	<p>エコアクション21では、環境や社会貢献活動への取組状況などを「環境経営レポート」にまとめ、公表することを規定しています。これを活用して、「環境配慮企業・社会貢献企業」として社内外にPRすることで、ステークホルダーからの信頼性向上に繋がります。</p> <p>※「環境経営レポート」は、エコアクション21中央事務局ホームページ（外部サイト）にて、全国の認証・登録事業者分が閲覧できます。</p>
---------	--

エコアクション 21 中央事務局 全国認証・登録事業所一覧・環境経営レポート閲覧

https://www.ea21.jp/list/ninsho_search.php

◆エコアクション 21 の取組により期待できる効果

コスト削減 環境負荷削減	<p>省エネ、省資源、廃棄物の削減などによるコストや環境負荷の削減はもちろん、作業効率・生産効率の向上や歩留まりの改善など経営上のムリ・ムダ・ムラの削減にも取り組むため、経営全般におけるコスト削減を図ることができます。</p>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員参加、取組方針や目標の共有化、取組の経過・成果の見える化により、従業員の意識・モチベーションを高めることができます。 ・ 従業員が「環境配慮企業・社会貢献企業」として会社に誇りを持つことができ、「愛社精神」を高めることができます。 ・ 地球環境の動向と経済情勢に関する理解を深めることができます
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境配慮を切り口に、経営の効率化（ムリ・ムダ・ムラ取り）を図ることで、労働環境の改善や働き方改革が実現し、従業員満足度を高めることができます。 ・ PDCAサイクルを回す習慣を定着させることができます。 ・ 自社の強みと弱みを踏まえた経営戦略を立案することができます。
経営リスクの回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の環境経営に関する動向が分かるようになります。 ・ 環境問題や社会のニーズに迅速に対応することができます。 ・ 法令順守等コンプライアンス管理の徹底を図ることができます。 ・ 事業継続性に対するリスク管理体制を整えることができます。（事業継続計画「BCP」の構築にも繋がります。）
社会的信頼の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への取組、CSR・CSV活動の「見える化」により、イメージアップを図ることができます。 ・ 取引条件の優位性を高めることができます。 ・ ステークホルダーからの環境やSDGsへの取組要請にも対応することができます。

◆エコアクション21の取組は、SDGsの取組にも直結します

「持続可能な開発目標“Sustainable Development Goals”（SDGs：エスディーゼーズと読みます。）は、2015年に国連が採択し、2016年に発効した、2030年をめざして明るい未来を創るための国際社会共通の目標です。

気候変動や生物多様性の損失、貧困や格差、紛争や人権侵害など、社会が抱える様々な問題を解決に導き、「環境」「経済」「社会」の3つの側面のバランスの取れた社会基盤を整備すること（持続可能な経済社会の構築）を使命とし、17のゴール（目標）と169のターゲット（取組・手段）を掲げています。

SDGsは、同年に採択された温室効果ガス排出削減のための国際的枠組の「パリ協定」と両輪になって、経済社会の抜本的転換をめざす道しるべとなっています。



《SDGsに関連する社会の動向》

①ESG投資の拡大

ESG投資とは、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の3要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のことです。

ESG投資においては、企業の社会問題への対応と企業価値のバランスが評価基準となり、これまではCSR・CSVの要素が重視されてきましたが、それらに加えSDGsへの取組も評価されるようになってきています。

②バリューチェーン全体での取組強化

大手企業では、いち早く経営戦略としてSDGsに取り組んでおり、自社だけでなく、関連するサプライヤーにも取組を求める動きが広まっています。

今後、SDGsの普及とともに、市場や取引先からのニーズとして、SDGsへの対応がますます求められていくものと考えられます。

《企業にとっての SDGs》

- 自社の SDGs への取組を社会にアピールすることで、企業イメージの向上に繋がります。
- SDGs には、社会が抱える様々な課題が網羅されており、社会のニーズが詰まっています。これらの課題への対応は、経営リスク（ニーズの変化、企業イメージの低下など）の回避とともに社会貢献や信頼性の向上にも繋がります。
- 今後、SDGs への取組が取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略として活用できます。

《エコアクション 21 と SDGs》

エコアクション 21 と SDGs は、ともに「持続可能な経済社会の構築をめざすこと」を使命としており、エコアクション 21 の取組は、SDGs の取組と軌を一にする部分が多くあります。

また、エコアクション 21 認証取得事業者の中には、「環境経営レポートの作成と公表」を通じて、自社の SDGs への取組をアピールするケースが増えてきています。

エコアクション 21 は、事業活動に SDGs を取り入れるための手段としても有効です。

 <p>6 安全な水とトイレを世界中に (水・衛生)</p> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに (エネルギー)</p> <p>8 働きがいも経済成長も (成長・雇用)</p> <p>12 つくる責任 つかう責任 (生産・消費)</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を (気候変動)</p>	<h3>エコアクション 21 で支援・促進する SDGs に関する取組例</h3> <ul style="list-style-type: none">○エネルギーの効率的利用、日常的な節水、エネルギーの節約○設備機器などの効率的な稼働○経営における課題とチャンスを反映した PDCA サイクルの導入○コストや環境負荷を削減しながら、生産性の向上を図る取組○方針・目標の共有化による従業員の意識・モチベーションの向上、組織の活性化○生産効率・作業効率の向上、歩留まりの改善、3R 活動○環境改善に資する製品・サービスの導入・開発○環境関連法規制の遵守○環境コミュニケーション（環境経営レポートの作成と公表）の取組による企業イメージや社会的信頼の向上、ESG 投資への対応
---	---

◆エコアクション 21 認証取得による優遇制度

- 「優良産廃処理業者認定制度」の認定基準の一つに「環境配慮の取組」が規定されており、取組内容にはエコアクション 21 の認証取得も含まれています。認定を受けると、許可の有効期間が通常の 5 年間から 7 年間に延長されるなどのメリットがあります。

埼玉県優良産廃処理業者認定制度のページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0506/sanpai-yuuryonintei.html>

- 自治体によっては、エコアクション 21 の認証取得が入札参加資格審査での加点対象になる場合があります。
- 日本政策金融公庫をはじめ、多くの金融機関で、エコアクション 21 に取り組む事業者への低利融資制度が設けられています。

◆エコアクション 21 認証・登録等にかかる費用

維持費用のめやす（事業所 1 ヲ所程度の場合）

従業員数		初年度	中間審査 (2 年目)	更新審査 (3 年目)	中間審査 (4 年目)	以降、 3 年目、 4 年目の 繰り返し
10 人以下	審査料+登録料	15 万円	10 万円	15 万円	5 万円	
11 人以上 30 人以下	審査料+登録料	20 万円	10 万円	20 万円	5 万円	
31 人以上 60 人以下	審査料+登録料	20 万円～	10 万円～	20 万円～	5 万円～	
61 人以上 100 人以下	審査料+登録料	22.5 万円～	10 万円～	20 万円～	5 万円～	
101 人以上 500 人以下	審査料+登録料	25 万円～	12.5 万円～	22.5 万円～	7.5 万円～	
501 人以上	審査料+登録料	40 万円～	15 万円～	35 万円～	10 万円～	

※5 年目以降は、3 年目・4 年目の繰り返しになります。

※従業員数には、正規職員だけでなく、パート・アルバイト、常勤の役員も含まれます。

※消費税、審査員の交通費が別途かかります。

認証・登録は、2 年ごとの更新となります。認証・登録事業者は、認証・登録の 1 年後に中間審査、中間審査の 1 年後に更新審査をそれぞれ受審し、適合と認められた場合は、登録時と同様の手続きを経て、登録の更新を行います。

エコアクション 21 について、詳しくは、エコアクション 21 中央事務局ホームページ (<http://www.ea21.jp/>) を御覧いただくか、エコアクション 21 地域事務局さいたま（電話：048-649-5496）へお問い合わせください。

《外部リンク》

エコアクション 21 中央事務局 <http://www.ea21.jp/>